

番号	領域	書名	翻訳者名	所属等	発行年月	備考
3	どもり	こどものどもり Q&A	長澤 泰子	広島大学	11.11	400
<p><b>主な内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>米国の吃音研究者の訳本</u></li> <li>・ アメリカスピーチ財団会長 ジェーン・フレイザーの編集本（著者は米国 7 名の研究者）を、翻訳した本。</li> <li>・ なぜどもるの ・もし、どもりのままだったら ・指導のすすめ方は</li> <li>・ 下の目次に関して一つひとつに答える形で、それぞれの専門の学者が書いています。</li> </ul>						
<p><b>目次</b></p> <p>はじめに . . . . . J・フレイザー博士</p> <p>『私の子どもはどもっているのでしょうか』 . . . . . G・コントゥア博士</p> <p>『なぜどもるのでしょうか』 . . . . . F・カーリー博士</p> <p>『どもりに家庭の生活ほどのように影響するのでしょうか』 . . . . H・グレゴリー博士</p> <p>『わが子がどもることをどのように人に話したらよいのですか』 . . . . . ギター博士</p> <p>『指導はどのように進められるのですか』 . . . . . A・ネルソン博士</p> <p>『もしどもりのままだったら』 . . . . . H・パーキンズ博士</p> <p>『援助を求めるべきでしょうか』 . . . . . E・ウィリアム博士</p>						
<p><b>ひとこと . . .</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国の論文を、長澤泰子先生が翻訳しています。吃音についての基本的な考え方がコンパクトにまとめられている一冊です。</li> </ul>						
<p>このパンフのおすすめ . . .</p> <p><b>図書館 「どもりA」と「どもりB」(PDF) でご覧になれます。</b></p>						
<p>備考 *初版はH 5:年3月</p>						